

第31回 *Splanchnic caput Medusae* 日本門脈圧亢進症学会総会

2024.9.26(木) ~ 9.27(金)

高知市文化プラザかるぽーと

会長 近森文夫 (前高知赤十字病院外科部長)

副会長 村上匡人 (村上記念病院院長)

2023年12月吉日

第31回日本門脈圧亢進症学会総会へのご寄付のお願い

拝啓

時下、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別にご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第31回日本門脈圧亢進症学会総会を担当させていただくことになりました。微力ではありますが、実り多き学術集会になりますよう、精一杯務めさせていただく所存です。合同開催のBRTO・TIPS研究会、肝不全治療研究会、脾臓研究会の当番世話人の先生方とともに刺激的でおもしろいプログラムを企画中です。また、本会期中に教育セミナーを開催し、併せて門脈圧亢進症について幅広く勉強していただけるよう配慮しております。今回、本総会のテーマは「**Splanchnic caput Medusae**」といたしました。Point of no returnのように、印象的なキャッチコピーとし、記憶に残る・歴史に残る総会にしたいと考えます。

門脈圧亢進症は、肝臓病の悪化のみならず、各種悪性腫瘍による門脈脾静脈浸潤、動門脈シャント形成、一部の血液疾患において発生いたします。この循環異常は心臓肺腎臓など全身の異常とも密接に関係いたします。本学会は世界で唯一の「門脈圧亢進症：portal hypertension」に特化した学会です。本会は1968年に発足した門脈外科研究会（1978年、門脈圧亢進症研究会に改名）と、1986年に発足した食道静脈瘤硬化療法研究会とが合体して、1994年に日本門脈圧亢進症食道静脈瘤学会（1999年、日本門脈圧亢進症学会に改名）となり、今日に至っております。この間、多くの会員の努力により本領域は飛躍的に発展し、本症をとりまく状況は大きく様変わりしています。門脈圧亢進症の患者さんたちは、一般診療患者さんたちよりもはるかに若いです。この患者さんたちを対象に、一人でも多く平均寿命到達を目指すところに日々のやりがいがあります。内科、外科、放射線科、内視鏡科、病理診断科等、背景の異なるすべての会員が一堂に会し、現在の課題を克服するためのinnovationを創出したいと思っております。本総会では、一般演題も多く発表されますが、日常診療における「コロンブスの卵」的エッセンスがつまっております。必ずや明日からの診療の糧となるものと信じています。

本来であれば、学会の開催経費は参加者の負担金で賄われるべきであり、できるだけ簡素、質素を旨として運営を企画しておりますが、遺憾ながら学会規模や会場費などの経費により全体予算が不足することが予想されております。本総会の成功のためには、関係各位のご協力が必須であることは言うまでもありません。本学会の意義をご理解いただき、本総会の思いを実現するために、ぜひとも絶大なるご支援をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、みなさまのますますのご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

第31回日本門脈圧亢進症学会総会

会長 近森文夫

運営事務局：株式会社クレッシー

〒104-0052 東京都中央区月島 1-8-1-915 TEL：03-6231-0307 FAX：03-5546-0486 office@jsph2024-medusae.jp

<https://jsph2024-medusae.jp/>

開催概要

1. 会議の名称

第31回日本門脈圧亢進症学会総会

2. 主催

日本門脈圧亢進症学会

3. 実行組織

会長 近森 文夫（前 高知赤十字病院外科部長）
副会長 村上 匡人（村上記念病院院長）
プログラム委員 日浅 陽一（愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科学教授）
入澤 篤志（獨協医科大学消化器内科教授）
中村 真一（東京女子医科大学消化器内科教授）
山門亨一郎（兵庫医科大学放射線医学教室教授）
谷合 信彦（日本医科大学武蔵小杉病院院長・消化器外科教授）

4. 開催期間／開催場所

2024年9月26日（木）・27日（金）2日間／高知市文化プラザかるぽーと

5. 予想参加者数

500名

◆企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて

本総会における各種ご協賛のお申し込みに関し、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「共催企業と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学術集会等の会合開催にかかる費用を公開することについて同意します。

募 金 概 要

1. 募金の名称

第31回日本門脈圧亢進症学会総会

2. 募金の目的・用途

第31回日本門脈圧亢進症学会総会開催費用への援助

3. 募金責任者

近森 文夫（前 高知赤十字病院外科部長）

4. 募金目標額

500,000円（総経費27,549,000円）

5. 募金が必要な理由

本学術集会には約500名の参加が予想され、会議開催の準備、運営に関する経費は総額27,549,000円が見込まれます。これらの諸経費は、本来なれば参加者から徴収する参加費などで賄うべきものですが、諸経費高騰の世情もあり、また、学会の性格上参加者が個人で負担できる金額にも限界があり、必要経費の相当額は各方面からのご援助に頼らざるをえないのが実情です。経費総額27,549,000円のうち、参加費、協賛費などの収入を除く500,000円を寄付金により充当したいと考えます。

6. 免税措置

なし

申込方法

1. 募集期間

～2024年9月25日（水）

2. 申し込み方法

こちらの URL からお申し込みください。

➔ https://www.cresci-inc.jp/free_form/jsph2024_d.html

3. 申し込み先・お問い合わせ先

第31回日本門脈圧亢進症学会総会協賛事務局

〒104-0051 東京都中央区月島1-8-1-915

株式会社クレッシェー内

TEL: 03-6231-0307 / FAX: 03-5546-0486

E-mail: sponsor@jsph2024-medusae.jp

URL [http:// jsph2024-medusae.jp](http://jsph2024-medusae.jp)

4. 振込先

銀行名： 高知銀行

本支店名： 竹島支店

預金種目： 普通

口座番号： 3054156

名義： 第31回日本門脈圧亢進症学会総会 会長 近森文夫

(ダイサンジユウイツカイニホンモンミヤクアツコウシンシヨウガツカイソウカイ)

5. 送金期限

2024年9月30日（月）まで

収支予算書

費 目		合 計		
収入の部	事業収入	(小計)	27,049,000	
		参加費収入(会員) (@10,000×350名)	3,500,000	
		参加費収入(非会員) (@12,000×130名)	1,560,000	
		参加費収入(メディカルスタッフ) (@3,000×20名)	60,000	
		会長招宴参加費	250,000	
		懇親会参加費	200,000	
		抄録集販売収入 (@3,000×50冊)	150,000	
		ランチョンセミナー共催費 (@2,000,000×4セミナー)	8,800,000	
		ティータイムセミナー共催費 (@2,000,000×2セミナー)	4,400,000	
		スポンサードシンポジウム共催費 (@2,200,000×1セッション)	2,420,000	
		冠セッション共催費 (@1,200,000×1セッション)	1,320,000	
		出展料 (@250,000×10小間)	2,750,000	
		プログラム・抄録集広告掲載料	1,144,000	
		ホームページバナー広告掲載料	495,000	
		寄付金収入	(小計)	500,000
			寄付金	500,000
	その他	(小計)	0	
		利息	0	
	合 計		27,549,000	
支出の部	準備費	(小計)	8,350,000	
		事務局費	500,000	
		事務局委託費	3,000,000	
		ホームページ制作関係費(サーバー使用料・企画費、運用費)	1,300,000	
		印刷・制作物関係費(ロゴデザイン、封筒・ポスター・フライヤー、名札、抄録集など)	3,500,000	
		オンライン参加申込関係費	400,000	
		通信費	150,000	
		当日運営費	(小計)	11,000,000
			会場借上費・附帯設備費	1,000,000
			映像機器費	4,500,000
			音響関係費	300,000
			施工費(各種看板、企業展示)	1,300,000
			運営要員費	1,400,000
			飲食費(懇親会関係/司会・座長・講師用・本部用・参加者用)	2,500,000
		招聘費・ 接遇費	(小計)	6,650,000
			宿泊費	1,500,000
			海外招待者交通費	3,000,000
			国内招待者交通費	500,000
			記念品代	450,000
			招待講演者謝礼	1,200,000
	事後処理費	(小計)	255,000	
		事後処理費	250,000	
		手数料	5,000	
	予備費		1,294,000	
	合 計		27,549,000	